

CBT片山チーム Behavioral & Neuroimaging studies: うつ病の病態解明やCBT治療機序を解明する

うつ病のアスピレーション(夢や希望)の病態解明研究

科研費
KAKENHI

公益財団法人
武田科学振興財団
Takeda Science Foundation



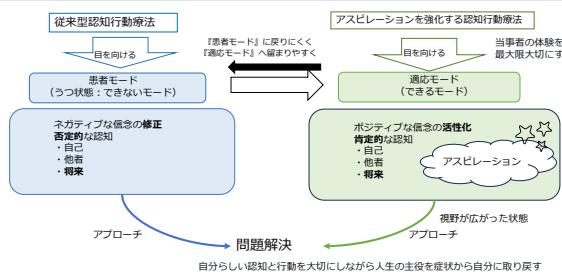
研究手法が決定。2025年度より実施

2024~2026

2024~2025

開発費2024~2026

片山奈理子M.D.,Ph.D



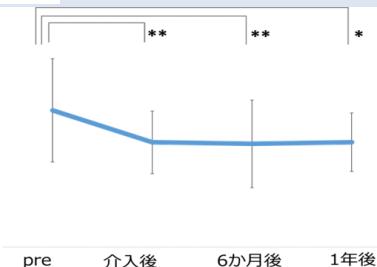
使用ツール作成: 板東央矩

科研費
KAKENHI

天野瑞紀M.D,Ph.D
若手2024~2026

CBTの持続効果の治療機序解明研究

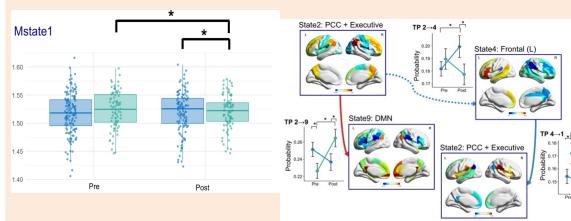
Response Time (ms)



認知行動療法は、うつ病患者のポジティブな未来性思考に対して、治療終了から1年経過した後でも、持続的な変化をもたらすことが示された。

M.Amano.et.al. in preparation

うつ病における治療的介入と脳の状態ダイナミクス研究



寛解群では、認知的な metastate1において、治療後に情報エントロピーが低下。認知的なmetastateの安定性が治療効果を説明する可能性が示唆

K. Shinagawa.et.al. Under review.

うつ病の反芻思考(ルミネーション)に対するCBTの治療機序解明研究

科研費
KAKENHI

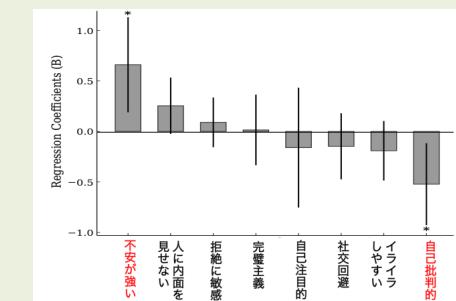
Takeda Japan Medical Office
Funded Research Grant 2022



Time-varying functional connectivity (TVFC) analysisで反芻思考に関連する脳機能変化をCBTと薬物療法で比較

反芻思考が強いうつ病患者はデフォルトモードネットワークの発生頻度が高く、その頻度はCBT群では減少。

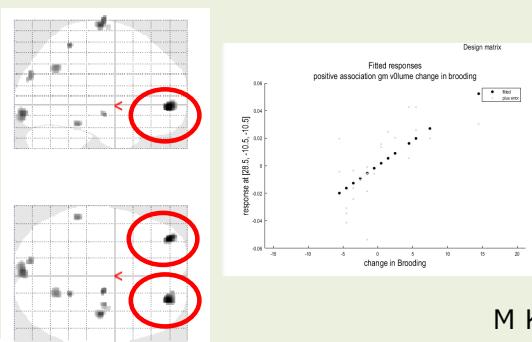
N Katayama.et.al. Transl Psychiatry 2025



うつ病に対するCBTによる反芻思考の改善に影響を与える気質・性格因子

反芻思考の改善において、不安の強い人は、CBTがより効果的自己批判の強い人は、効果が限定的

S.Noda.et.al.Front.Psych 2025 (大学院生)



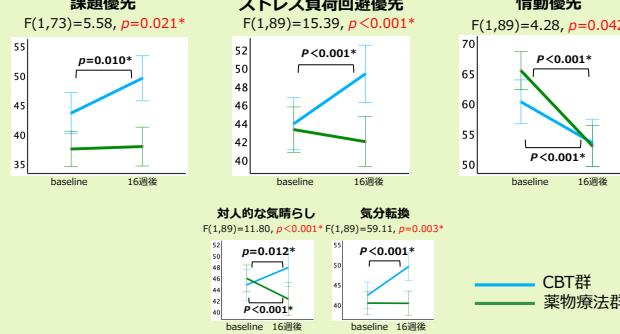
両側OFCの体積がCBTによる反芻思考の改善度と相関

両側OFCのvolumeがCBTによる反芻思考が改善する予測因子である可能性が示唆

M Komatsu.et.al. in preparation (専修医)

CBT片山チーム Empirical & Dissemination Implementation studies: エビデンスを創出し、CBTを臨床現場に実装する

CBTのストレスコーピング研究



CBTと薬物療法ではストレスコーピングの変化が異なっていた
S. Ihara et.al. Front.Psych 2024

科研費
KAKENHI

小澤満玲MS
基盤C 2024～2026年度

CBTの導入時の適応条件調査研究

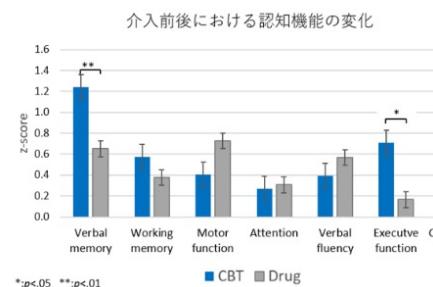
先行文献による適用条件調査

- 若年者
- 症状の重さ
- 教育レベルの低さ
- 併存疾患の存在
- 不良の治療関係
- 少数民族
- 治療への動機づけの低さ
- 早期改善が認められない
- 人格障害の存在
- 社会的地位の低さ
- 治療への期待度の低さ

CBTを実際行っている臨床家へのアンケート (2025年度実施)

うつ病へCBTを導入する際の
チェックリスト作成

うつ病におけるCBTの認知機能の変化



介入前後において、CBT+通常治療群と薬物療法群とで比較。CBTは、薬物療法と比較して言語記憶と実行機能を改善させる可能性が示唆

Y.Kobayashi et.al. Under review.

共同研究機関



CBTケースカンファレンス
毎週水・木曜日 16:00-17:00



CBT 片山 Team members:

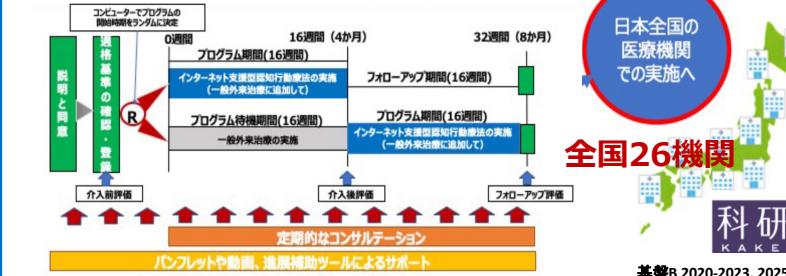
片山奈理子, 野上和香, 天野瑞紀, 伊原栄, 板東央矩(院), 野田祥子(院), 満田大, 倉田知佳, 小林由季, 小澤満玲, 佐々木洋平, 品川和志, 佐藤俊之, 中川敦夫(顧問)

普及実装研究

INITIATE study インターネット支援型CBT・遠隔CBT多施設共同研究

Hybrid Type2 implementation- effectiveness study : onlineコンサルテーションなど
臨床現場でのCBT訓練法の検証を目的とした全国の医療機関が参加する多施設共同RCT

(北大、九大、名古屋大、広島大、杏林大、聖マ大、愛媛大など)



2024年度

CBT訓練プログラム参加者

(精神科専攻医)

- ・小中亜由美先生
- ・板東央矩先生
- ・小松未来先生
- ・岡村広輝先生